

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ふれあい収集事業(東部クリーンセンター)	所管	環境クリーン部 東部クリーンセンター 収集事務所 TEL 2946-5353
-----	----------------------	----	--

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者又は障害者等により家庭から排出するごみを、自らがごみ集積所へ出すことが困難な者に対し、市が利用者宅の戸口において直接ごみを収集する業務。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	高齢、障害があるなどの単身者及びその他市長の認める者	対象とした数	120	人
		実際に 利用した数	110	人

活動の内容	(何を したか)	市が定める家庭ごみの分別方法に従い、品目ごとに分別したごみを指定されたごみ袋に入れ、一週間に一度市が指定した曜日に自宅の戸口先に排出されたごみを収集する。さらに、利用者が声かけを希望する場合には、声をかけ安否確認をおこなう。 [月曜日]所沢地区 [火曜日]松井地区 [水曜日]柳瀬地区・富岡地区 [木曜日]新所沢東地区・並木地区 [金曜日]吾妻地区							
	活動実績	項目名	年間利用者数	110 ----- 単位 人	項目名	年間利用予定者数	120 ----- 単位 人	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	431	516	25,879	76.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用率	年間利用者数 ÷ 年間利用予定者数	120 ----- 単位 %	110 ----- 単位 %	91.7 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
	終了 ⇒ 事業完了 終了 休止					
予算	* 現状どおり 増額 減額 終了					

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050800	TEL	2946-5353
事業コード	ふれあい収集事業(東部クリーンセンター)					
050802	環境クリーン部 東部クリーンセンター収集事務所					
開始年度		平成 17 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	関連・類似事業	西部クリーンセンター			所沢市ふれあい収集実地要綱				
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	2 適正処理の拡充	小柱	(3) 収集体制の整備
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	高齢化社会に対応した市民サービスの一環として、ふれあい収集事業を平成17年4月1日から開始した。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	高齢者又は障害者等により家庭から排出するごみを、自らがごみ集積所へ出すことが困難な者に対し、市が利用者宅の戸口において直接ごみを収集する業務。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方				要件該当者数(申込みによるもの)				
	対象者数	単位	平成 18 年度	110	人	利用数	単位	平成 18 年度	100	人
			平成 19 年度	120	人			平成 19 年度	110	人
	事業の具体的な内容及び実施方法									
市が定める家庭ごみの分別方法に従い、品目ごとに分別したごみを指定されたごみ袋に入れ、一週間に一度市が指定した曜日に自宅の戸口先に排出されたごみを収集する。さらに、利用者が声かけを希望する場合には、声をかけ安否確認をおこなう。 [月曜日]所沢地区 [火曜日]松井地区 [水曜日]柳瀬地区・富岡地区 [木曜日]新所沢東地区・並木地区 [金曜日]吾妻地区										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	《 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 》							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())							
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
	平成19年度中に改善した点 利用者は、高齢者が多いため、収集時には安否確認のため声かけを実施し喜ばれている。常に声かけ希望者には明るく親切に対応し親しみやすい接遇を心がけた。110人中声かけ希望者62人								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		87	431	387
	決算(見込み含む)		182	516	
	(嘱託職員)(臨時職員)	人	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	2.70 人	24,840	2.70 人	25,363
	公債費				
	事業費合計		25,022	25,879	
	財源内訳	一般財源	25,022	25,879	387
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		74.1	76.3	
	利用数一単位あたり(単位:円)		250,220.0	235,263.6	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用者数	利用者数	人	100	110	120	
		年間利用予定者数		人	110	120	130	
	成果分析	利用率	年間利用者数÷年間利用予定者数	%	目標値	110	120	
				%	実績	100	110	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
%				達成率	90.9	91.7		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	入院等の理由によりごみ収集を停止する場合は、利用者または担当ケアマネージャー等から連絡を必ずすることになっているが徹底されず、現場では安否確認が出来ず苦慮している。一時的に中止するさい連絡を必ずすることを再度注意をおこなう。				
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)			
平成20年度における目標設定	ごみ収集を停止の場合の連絡の徹底	利用者、担当ケアマネージャー、保護者が連絡	ごみ収集日の前日まで		
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	毎年度、利用者数は増加傾向にあることから、今後も親切、迅速を心がけ充実を図ってきたい。				
評価日	H20.5.9	記入者職氏名	主幹 小山修一		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由			
	評価日			
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由			<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日			

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322	323
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-2リユース・リサイクルの推進	
		3-2資源循環の促進		3-2-3廃棄物の適正処理	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				